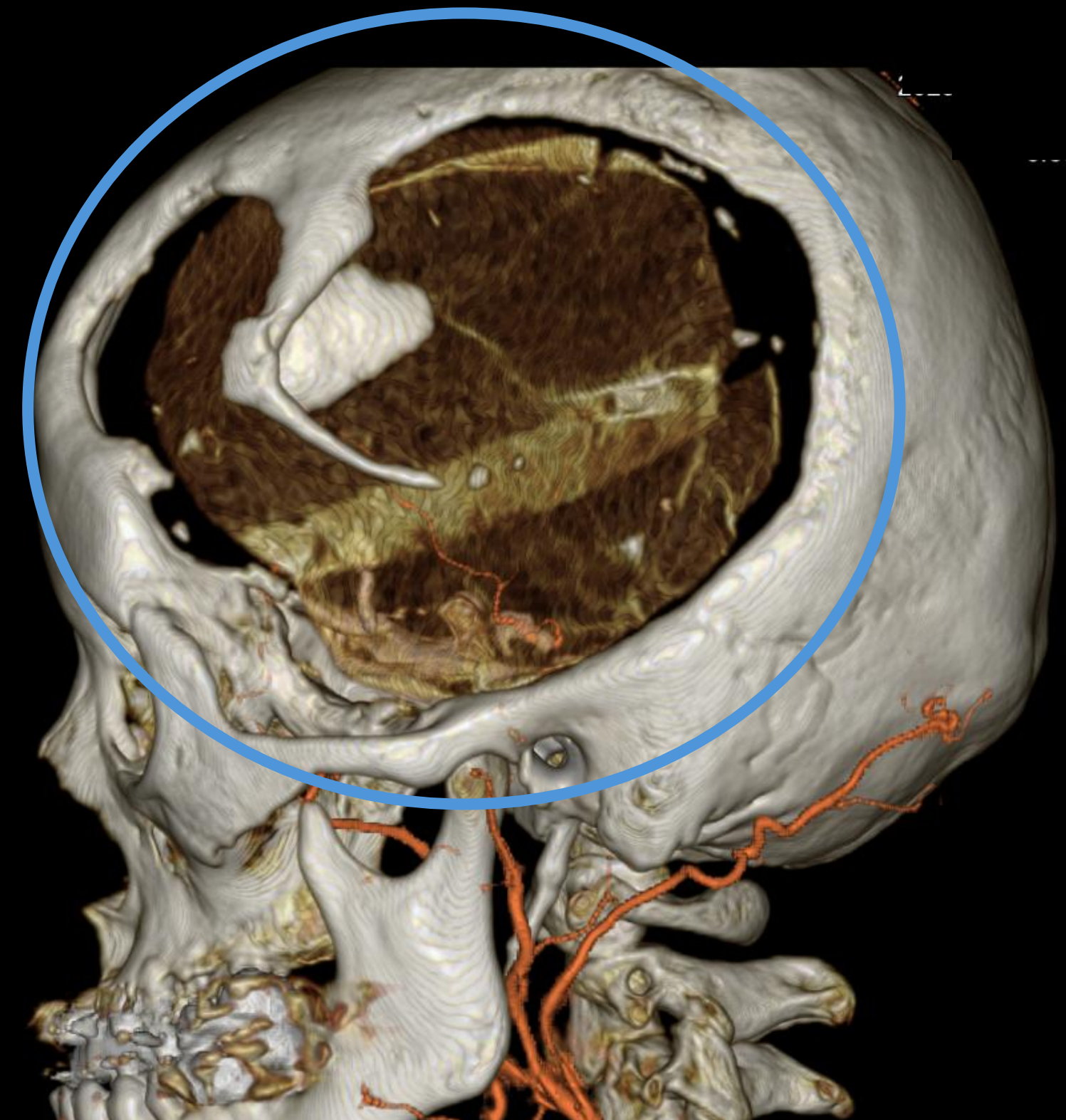
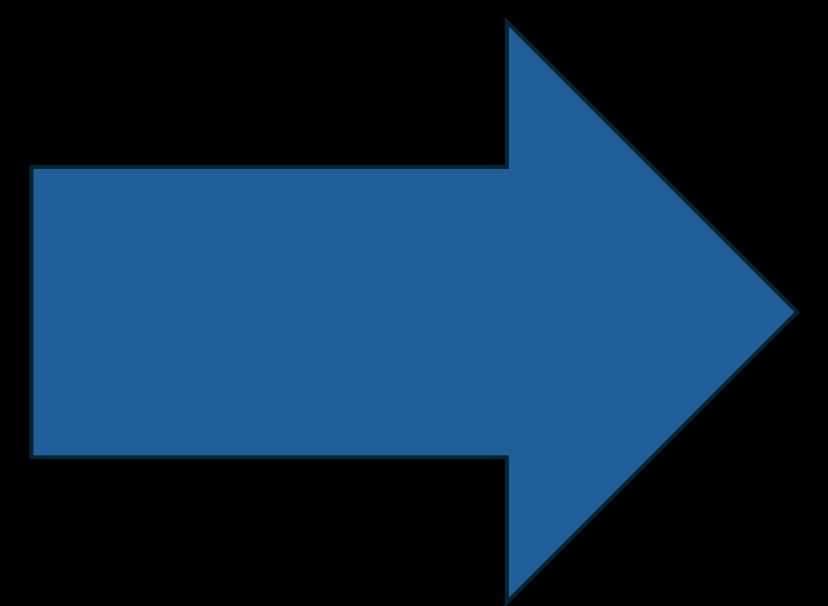


頭蓋形成術における吻合血管可視化にVasoCTが有用であった一例



頭部CTA

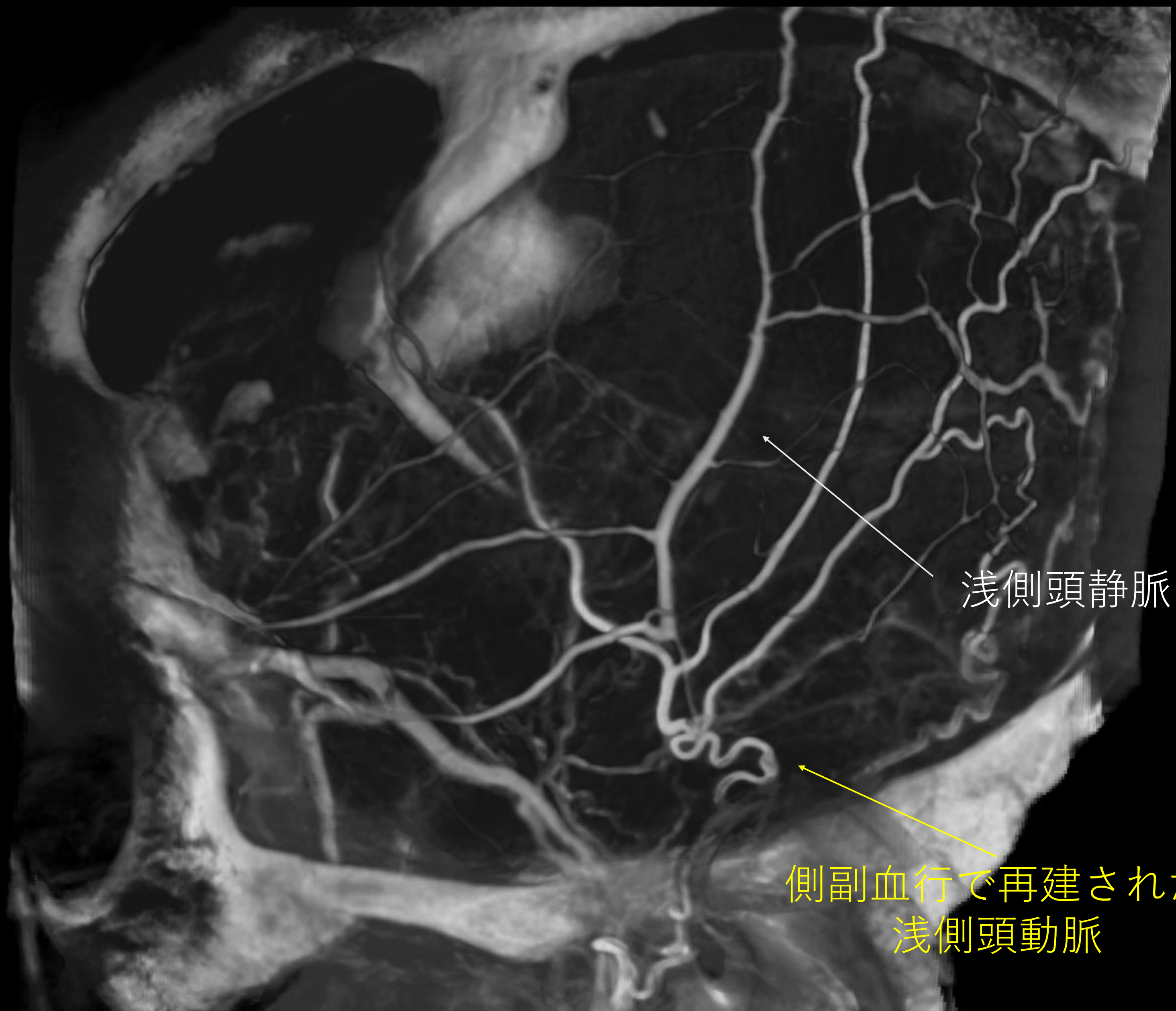
吻合血管の同定が困難



吻合血管可視化

症例：左中大脳動脈破裂によるくも膜下出血後 61歳女性
 5年の経過で自家骨の腐骨が進行 ➡ sinking flap syndrome
 形成外科が遊離皮弁を用いて再建を行う可能性
 皮弁の栄養血管の同定・温存が必要

考察：本症例では,骨と密着する吻合血管の描出に高分解能CBCT
 (VasoCT) が有用であった.特に,低コントラスト描出能に優れ,術
 前評価に有益であることが示唆された.今後の課題としては,造影剤
 の希釈濃度や注入速度,再構成条件の最適化が挙げられる.



浅側頭静脈

側副血行で再建された
浅側頭動脈

VasoCT

使用装置 : Azurion7 B20/15(Philips)
 撮影条件 : 80kV VasoCT (10.5inch), Scan time:20sec
 造影剤 : 1.5ml/sec, 37.5ml, delay time:5sec, contrast media:40%
 再構成条件 : Cube size:140%, Kernel:Exam Preset, Matrix384³